

# 眞善美

学校教育目標「無限の可能性をひらく教育」

## 3年生は、いよいよ入試本番に向かいます！

3年生は、いよいよ入試の本番に向かいます。幸いなことに現在中学校では、インフルエンザなどの感染症が蔓延している状況はありません。このまま、入試を乗り切ってほしいと願っています。1年生、2年生は中旬に第4回定期テストがあります。1年間の学習の総まとめとして、しっかりと取り組み次年度に繋げることができるよう精いっぱい学習に取り組んでほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、12月に「学校評価」についてご協力いただきありがとうございました。今月末には、学校だより「臨時号」にて、結果をご連絡をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 書初めコンクール・新年の新たな気持ちを書に表しました!!!

令和6年度書初めコンクールが行われました。1月8日に各教室で展示された後、各学年の優秀作品が職員室前の廊下に展示されました。お題である文字は、例年と同じく、1年生は「不言実行」、2年生は「新たな目標」、3年生は「旅立ちの春」が課題でした。教室展示の作品も優秀作品も、行書を意識した作品に仕上がっており、文字とじっくり向き合った姿が目に見えました。新年は、気持ちを新たにリセットできるチャンスです。書初めに託した心が表現されているようでの作品も素晴らしいものでした。

2月の中旬まで、職員室前廊下に掲示します。学校を訪れた際は、ぜひご覧になっていただけたらありがたいです。

1年生	2年生・F組	3年生
金賞 星川 玲海	金賞 早川 さくら	金賞 橋本 奈々美
銀賞 神谷 幸花	銀賞 原 茉白	銀賞 秋津 花帆
銀賞 橋本 清士朗	銀賞 村山 純人	銀賞 殿岡 香保
銅賞 井上 桜菜	銅賞 猪飼 奏人	銅賞 石井 雅宗
銅賞 加藤 巧馬	銅賞 大杉 しずく	銅賞 菊川 瑞歩
銅賞 松本 将翔	銅賞 竹内 真菜	銅賞 二宮 莉子
	銅賞 奥野 愛姫	

※敬称は略させていただきます。



## 1年生で「生き方講話」を実施しました!!

1月21日（火）の5・6校時、1年生の総合的な学習の時間で「生き方講話」を実施しました。

講師を務めていただいたのは、小竹にある「小澤果樹園」を経営なさっている小澤佳輝（おざわよしき）さん、二宮で「山田食堂」を切り盛りしている山田則子（やまだのりこ）さん、栄町にある「旧三福不動産」の共同代表を務める山居是文（やまいよしふみ）さん、Alexandros の元ドラムを担当し、現在はライターやスタイリストとして活動している 庄村聡泰（しょうむらさとやす）さんの4名です。

講師のみなさんからいただいたお話の中で共通していたことは、4名ともご自身の人生の山や谷について経験なさったことをもとに、自分の価値観を自分で手に入れてきたということです。

生徒の感想からは、講師の方々の話を通して多様な生き方を知り、自分自身の生き方について見つめる機会となったことがうかがえました。



## F組 職場体験学習を行いました!!

1月28日（火）・29日（水）にかけて、F組3年生が職場体験を行いました。

今年度は、小田原紙器工業（株）開成工場にご協力をいただき実施しました。はじめに工場の中を見学させていただき、高度に自動化されたパッケージ印刷と切断・組み立ての工程に驚きの声をあげていました。糊付けのチェックや一部特殊紙の組み立ては、人の手によるもので、その熟練した作業に感心していました。後半は菓子箱の中仕切りを組み立てる実習を行いました。実際に市中に出回るものとあって、どの生徒も緊張した面持ちと手つきで実習を始めました。時間が経つにつれて作業にも慣れ、集中して進めることができました。



この機会を与えてくださいました小田原紙器工業（株）さまには深く感謝いたします。F組ではこのあと、2年生、1年生もそれぞれの事業所で見学または体験を行います。

**〈ひとりごと〉** 1月の末に、輪島市役所の方とお話しする機会を頂き、昨年の被災した時のことや夏の豪雨による被害のことなどの話を聞きました。特に驚いたこととして、建物の崩壊した様子など新聞やテレビなどで見た方も多いたと思いますが、耐震工事をしていても倒れてしまったビルがあるそうです。原因は、地盤の弱さによる建物の崩壊だそうです。鴨宮中学校も耐震工事により、補強をしていますが、地盤までは強化していません。人の予想を超える災害が起こったとき防ぐことができない恐ろしさを聞き、どうすればよいか考えさせられました。

また、話してくれた方が、今年の1月1日、「今年は地震ないよな」、「明日も平気だよな」と考えてしまったそうです。その時のことは、忘れようがなく「心」に残っているそうです。

そして、多くの方に伝えたいことは、「当たり前」が「当たり前ではない」、「当たり前ではなくなる」この現実をどう受け止めることができるか。生きているだけで「幸せ」と思って前を向いていけるかが大切である。このお話を聞いて、今一度防災について深く考える機会となりました。